

## 標本調査を使って読了時間を予測しよう

大東市立深野中学校

教科

数学

単元名

標本調査

## 単元でつけたい力（ステップシートの項目）

(教科等でつけたい力)

- ・無作為に抽出したものを、具体的に処理をする。
- ・文章の数や読了時間を推定するしきみを理解し、標本調査の意義を考える。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

- ・多くの書籍の中から、自分が興味を持ち薦めたい本を選び、文章を作成する。

## 本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP3, G-STEP4

J-STEP4, K-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



## 単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (全3時間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・全数調査と標本調査の違いやよさを理解する。</li><li>・標本調査のときに、標本を「無作為に抽出する」方法を知る。</li><li>・日常のさまざまな場面において、標本調査を利用しようとする。</li></ul>
第2次 (全2時間)	<ul style="list-style-type: none"><li>○標本調査を利用して、総文章数や読了時間を推定する。</li><li>・おすすめ本のポイントや本の表紙などを示し、1人1台タブレット端末でレポートを作成する。（☆）（本時）</li><li>・互いのレポートを班で発表し合う。</li></ul>

## 本時のねらい

自分が関心のある本を紹介するために、標本調査の考え方を使って、文章数や読了時間を推定する。

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	<p>1. 前時までの振り返り・本時のめあて確認。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抽出方法や推定する方法など、標本調査の方法の確認をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・おすすめの本を10分以内に決める。</li><li>・おすすめポイントを書くので、読み切れるものを選ぶように指示する。</li></ul> <p>・標本調査の考え方が不十分な生徒には、個別に確認を行う。</p>
展開 (35分)	<p>2. レポートを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・標本調査を各自で行う。</li><li>・推定文章数や推定読了時間を調べて、レポートに記入する。</li><li>・本のおすすめポイントを文章にまとめていく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本の総文章数や推定読了数を調べるために、必要な情報を確認する。</li><li>・本のおすすめ文章を考える。</li></ul>
まとめ (5分)	<p>3. 本時の振り返り。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・レポートの進捗状況の確認を行う。</li><li>・完成したレポートは、Teamsにて提出するように伝える。</li><li>・次時にレポートの完成、班での発表を行うことを伝える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本を読み終えていない生徒は、貸出手続きをを行い、次の授業までに読むように伝える。</li></ul>

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・本にあまり興味を持っていなかった生徒が、学校図書館で本を手に取ることができ、学校図書館活用の意義があつたと感じられた。
- ・レポート作成に対して、それぞれが創意工夫している様子があり、アウトプット活動の有効性を感じられた。
- ・標本調査の考え方を実際に利用することで、そのよさを感じることができた。



学校図書館で本から情報収集している様子